

令和6年度版

「自由と創造」の精神を活かした生活指導

～「型にはめる指導」ではなく、自律心と自己責任に基づいた「社会性の育成」こそが本当の生活指導だと考えます～

細かい規則は作らない、しかし決して放任ではない。

世間の常識・マナー・モラルをわきまえ、周囲への配慮を怠らず、他者の人権を尊重し、自ら考えて行動できる力を養う生活指導に取り組んでいます。

規則による抑止力に頼ることなく、教員の一致した働きかけと、それに応えてくれる生徒の存在こそが大切です。

「自由でありながら、凜とした雰囲気漂う学校」であること、これこそが高津高校の存在意義であると考えています。

① **制服はありません。**自由服ですが、露出の多い服装などは控え、清潔でTPOをふまえた服装をするよう指導しています。

② **頭髮等についても、特に規制は設けていませんが、自然な状態を基本としています。**

③ **履物については、スリッパやサンダル、ハイヒール等を禁じています。**

④ **携帯電話の持ち込みを認めていますが、授業中は必ず電源を切りカバンにしまう、というルールを徹底しています。**

⑤ **アルバイトは禁止していませんが、家族と相談の上、学業や部活動に支障のない範囲にとどめるよう指導しています。**

→ 日常的にアルバイトをしている生徒は僅かです。

(令和6年10月1日)

生活指導部長より

生徒諸君が守らなければならないことは、他の高校と変わりはありません。世間の常識・マナー・モラルから逸脱することは許されません。ただ服装に関しては自由服であり、個々の責任で選択することができます。自由に選択できると言っても、前述の常識・マナー・モラルを守らなければならないことに変わりはありません。服装以外でも全ての行動に選択の幅があることで、戸惑うこともあるかも知れません。ここで自己責任による行動の判断能力が問われます。「自由」には「責任」が伴います。正しい行動をとるための自己決定能力・判断力を養わねばなりません。周囲に配慮し、他者を気遣うことのできる心を養わねばなりません。生徒諸君が正しい選択、正しい行動が取れないようでは、選択肢は狭まり、画一的な規範の中で行動せねばならないようになるでしょう。「何でもOK!」を自由とは言いません。「自ら考え、行動する力を養う」、高津高校の生活指導の理念はここにあります。